

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 4日		2026年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士2名、英語教員、国語教員といった専門職が療育・支援に携わっている	・各専門職が5領域を含んだプログラムの考案実施 ・楽しみながら身につくを基本に毎日飽きない様々なプログラムの提供のほかに成長過程で直面する悩みを相談できる(安心できる)場所として信頼関係を構築していきます。	職員研修を定期的に行う。又、勉強会に参加しスキルが向上することでお子様や保護者様のニーズに沿ったプログラムを実施出来るようにしていく。
2	幅広い年齢層の他児との関わり 小学校1年生から高校3年生までのお子様と一緒に活動している	異年齢と過ごすことで、日常生活に必要なスキル等を真似しながら習得したり、関わり方(上下関係)を学んだり出来るよう、他児との関わりを大切にしている。又中学生から高校生・小学生と分けてそれぞれの段階的支援を行うための取り組みを行っていく	事業所内だけではなく、他事業所や地域のお子様と関わる事が出来る活動を立案・実施。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供出来ていないこと。	・平日においても、可能な限り(下校時間が早い時等)公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。 ・姉妹店アロとの共同企画・子ども食堂や地域のフェスなどのイベントに参加する。
2	保護者間での交流の場が少ない	家族様イベントは年4回企画しているが保護者だけの会を開催できていない	保護者交流会を定期的で開催し保護者様同士の関わりや相談の場を提供していくと共に今後は年4回の親子(兄弟含む)参加型のイベントだけではなく親子参加型プログラム(クッキング)を立案していきます。
3			